

集中豪雨における県管理道路の安全対策を求める要請決議

本年6月20日、八重山地方を強風域に巻き込んだ台風4号の影響で激しい雨が降り、石垣市字伊原間の県道79号線で土砂崩れが発生し交通規制が行われた。

当市においては、大雨のたびに土砂崩れ・道路冠水が生じており、本年3月に発生した記録的な大雨により増水した側溝に男性が流され尊い命を失うという悲惨な事故も発生している。その他にも道路冠水による通行不能、事務所・住宅・店舗の浸水、車両の水没など市民生活に多大な影響をもたらしている。

特に、石垣島北西部を通る県道及び国道のような基幹道路が、冠水・土砂災害により通行止めになると孤立しかねない地域も存在し、人命にかかわる緊急時の対応に懸念と不安が生じている。

また、本年3月7日に開港した南ぬ島石垣空港に通じる県が管理する国道390号においては、地元の車両のみならず観光客が利用するレンタカーにより交通量が著しく増加しているため、冠水で交通が妨げられる道路事情は市民生活への影響のみならず観光地としてのイメージを大きく損なうものである。

よって、当市議会は、災害から市民生活を守り、市民が安心して暮らしていける安全な街づくりを推進していくための重要な施策として、下記の事項を早急を実施するよう強く要請する。

記

- 1 県管理道路における土砂崩れの恐れがある危険個所の早期点検と対策を実施すること。
- 2 頻繁に生じる道路冠水箇所の確認と早期に解決策を実施すること。

以上、決議する。

平成25年6月25日

沖縄県石垣市議会

あて先

沖縄県知事、沖縄県議会議長、地元選出沖縄県議会議員